学校番号	101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	表現国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	国語常識の演習と整理ができる　国語必携　パーフェクト演習（尚文出版） 国語表現ナビ（株式会社浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を養おう。
・多様な言語活動に取り組み、実用的な国語の力を着実に養成しよう。
・表現することへの関心を高めたり表現の参考になったりする文章や資料を通して、表現を楽しもう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉の特徴や役割、表現の特色などについての理解を深め、知識を身に付けている。 ・また、目的や場面、相手に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。	・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりしていて、自分の考えを深め、発展させている。 ・相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	4　自己 PR と面接 ［教材］ レッスン2　効果的な自己 PR レッスン4　志望理由を書こう レッスン6　面接にチャレンジ レッスン7　グループディスカッション	a:・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。 b[話/聞]:・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [書]:・目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c:・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ・面接やグループディスカッションでの留意点や言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。〃	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品
2学期	3　小論文・レポート入門 ［教材］ レッスン1　小論文とは何か レッスン2　反論を想定して書く レッスン3　文章を読み取って書く レッスン4　統計を読み取って書く レッスン6　レポートを書く	a:・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 b[書]:・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。 ・文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。 c:・小論文やレポートを書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品
	第2部　表現を楽しむ	a:・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、	観察 小テスト	観察 ワークシート	観察 ワークシート

	［教材］ 11　演説合戦にチャレンジ	相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b「話/聞」・適切な情報や根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や説明資料を工夫している。 ・、自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・話し合いの目的に応じて議論や討論を行い、話し合いのしかたや結論の出し方について批評している。 c:・演説合戦の活動に意欲的に取り組もうとしている。	定期考査		
3学期	6　会話・議論・発表 ［教材］ レッスン1　相手や場面に応じた会話 レッスン3　スピーチをしよう レッスン4　プレゼンテーションの工夫	a:・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[話/聞]:・相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、聴衆に対して説明している。 c:・相手や場面に応じた会話、スピーチやプレゼンテーションをすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　４０　　）時間

・書くこと　…　（　　３０　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間